

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

医学部医学科では、教育理念・教育目的・人材育成目標に基づき「①グローバルに通用する幅広い医学知識と質の高い臨床能力を身につけ、②コミュニケーション能力に優れ、高い倫理観をもって患者中心の医療を实践でき、③世界水準の能力と地域を見る目を養い地域に根差した医療活動を实践できる」医学能力・技能等を修得したものに学位を授与します。

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規定で定められた卒業に必要な単位・時間数を修得し、知識・技能・態度の評価で一定の基準を満たすことが学位授与の要件です。

卒業時までには修得すべき具体的な能力・技能等は以下のとおりとします。

１．医師としての知識・技能

- ① 医師に必要な医学知識を修得する。
- ② 実際の医療を理解し基本的な医療手技を修得する。

２．医療人としての態度・姿勢

- ① 倫理観、良識および十分なコミュニケーション能力を備える。

３．医療人としての総合的能力

- ① 医療および医学研究に必要な基本的自然科学の知識を修得する。
- ② 基本的な英語運用能力を備える。

４．地域医療を实践する能力

- ① 総合医としての基本的な能力を備える。
- ② 被ばく医療の基本を理解し实践する能力を備える。

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

医学部医学科では、理念・教育目的・人材育成目標に基づき「①グローバルに通用する幅広い医学知識と質の高い臨床能力を身につけ、②コミュニケーション能力に優れ、高い倫理観をもって患者中心の医療を実践でき、③世界水準の能力と地域を見る目を養い地域に根差した医療活動を実践できる」人材の育成を目的とした体系的な教育課程を編成・実施します。

具体的な教育課程の編成・実施は以下のようです。

1. 本邦における医学教育の指針である「医学教育モデル・コア・カリキュラム—教育内容ガイドライン」に準拠する。
2. 学生の能動的学修を促すために自学・自習の機会を十分に取り入れたカリキュラムを編成する。
3. 本学の共通・教養教育の理念に基づき、医療人としてふさわしい良識・教養を養うための科目を編成する。さらに、医学専門教育の準備という視点から自然科学系科目を統合し、「医学準備教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠した「医学準備教育科目」を編成する。
4. 基礎医学および臨床医学を関連づけて学習できる「統合型科目」を編成する。さらに、研究マインドを涵養する一環として、全員に「研究室配属」として基礎医学の現場を体験する機会を設け、希望により長期の基礎研究を体験可能な自由度の高いカリキュラムを編成する。
5. 臨床実習（クリニカルクラークシップ）は、各診療科での診療参加型実習を編成する。実習は担当患者の診察・臨床推論・診療記録を行い、担当教官による形成的評価を行う。重要な診療科は十分な時間をかけて実習を行う。
6. 医療人としての適切な倫理観、良識、コミュニケーション能力、生涯学習への意欲などを涵養する継続的なプロフェッショナリズムカリキュラムを編成する。
7. 地域医療実践の観点から、救急総合医としての能力や被ばく医療の基本を身につけるカリキュラムを編成する。
8. ディプロマポリシーで掲げた目標が達成できるよう、科目等を体系的に配置する。